

# 平成29年度 第49期 事業報告

(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

## 1. 会員の状況

会員数 平成29年12月31日現在  
第1種正会員 31名  
第2種正会員 59社  
合計 90

## 2. 役員等の状況

### ①役員の変動

理事 佐藤悟氏及び吉田浩次氏が辞任し、及川隆氏及び水本義一氏が就任

### ②役員数

会長1名 専務理事1名 常務理事1名 理事9名 監事2名 計14名

## 3. 会議

### ①総会

第49期定時総会	ホテルメトロポリタン盛岡 本館	29.02.27
第1号議案	第48期事業年度事業報告及び決算について	
第2号議案	第49期役員報酬限度額について	
報告事項	1)第49期事業計画及び予算について 2)公益目的支出計画実施報告書の提出について	
臨時総会	一般社団法人計量計測技術センター 会議室	29.05.27
第1号議案	理事の選任について	
臨時総会	一般社団法人計量計測技術センター 会議室	29.08.18
第1号議案	理事の選任について	

### ②理事会

第1回	ホテルメトロポリタン盛岡 本館	29.02.08
第1号議案	第48期事業年度事業報告及び決算について	
第2号議案	公益目的支出計画実施報告書について	
第3号議案	第49期事業計画(案)及び予算(案)について	
第4号議案	第49期役員報酬限度額について	
第5号議案	第49期借入金限度額について	
第6号議案	第49期定時総会の開催について	
報告事項	業務執行状況の報告	
臨時	一般社団法人計量計測技術センター 会議室	29.05.09
第1号議案	臨時総会の開催について	
第2号議案	臨時総会の議案を书面をもって評決することについて	
第2回	ホテルメトロポリタン盛岡 本館	29.07.27
第1号議案	臨時総会の開催について	
第2号議案	臨時総会の議案を书面をもって評決することについて	
報告事項	第49期事業年度(上半期)における事業の経過について	

### ③監査会

一般社団法人計量計測技術センター 事務所 29.01.31  
平成 28 年度第 48 期事業収支決算の監査及び業務監査

## 4. 事業

### (1)計量及び計測管理に関する知識の普及及び情報提供に関する事業

#### ①計量記念日事業

- 1) けいりょう標語の募集 29.06.28  
第 35 回「けいりょう」標語募集について、計量記念日と計量強調月間に関連して一層の計量に関する知識の普及啓発を図るため、消費生活の向上並びに製造・流通上の品質管理の推進と、最近関心の高い地球環境保護にかかわる環境保全対策に関する標語を広く県民から募集し、133 作品の中から審査会において岩手県知事賞を含む 7 点の入選作品と 3 点の佳作を選出して表彰した。また、入選作品を 7 種類の標語ステッカーとして作成し、約 220 事業所に配布した。
- 2) 「計量記念日ポスター」、「計量のひろば」の配布 29.10.20  
計量記念日全国統一ポスター及び冊子「計量のひろば」(日本計量振興協会作成)を約 220 事業所に配布し、計量に関する知識の普及啓発を推進した。
- 3) 新聞広告の掲載 29.11.01  
11 月 1 日の計量記念日に合わせて岩手日報朝刊に広告を掲載し、広く県民に計量の意義、計量制度の重要性を普及啓発した。

#### ②講習会、セミナーの開催

- 1) 一般主任計量者講習の開催 (計量証明事業)  
計量証明事業を行う事業所における有資格者 (一般主任計量者) の確保と養成を図るための講習会を開催した。(受講者 31 名) 29.03.15
- 2) 盛岡市が主催する計量担当者実務研修会へ講師を派遣し協力した。  
(受講者 31 名) 29.02.10
- 3) 計測セミナーの開催  
ISO9000s において、計測管理に関わる要求事項が一つの重要な要素となっており、計測管理にとどまらず品質保証においても重要な「測定の不確かさ」の評価方法について実習も含めて研修し、各事業所の計測管理技術及び品質保証の向上等を目的としたセミナーを開催した。(第 20 回計測セミナー)  
講習内容 「易しい不確かさ入門」 受講者 16 名  
共催 地方独立行政法人岩手県工業技術センター  
会場 岩手県工業技術センター 29.09.14
- 4) 中小企業向け測定基礎研修会の開催  
主に県内の中小企業を対象に、測定の基礎知識・技術を研修する機会を設け、物づくり現場における技術者として必要な測定の基本的な知識・技術を習得し、企業内の設計、製造、品質保証に生かすことを目的とした研修会を開催した。  
後援 地方独立行政法人岩手県工業技術センター  
会場 岩手県工業技術センター 受講者 30 名 29.12.06

#### ③会報「けいりょういわて」の発行

年 2 回 会員、計量行政機関、関係事業所に 300 部配布した。

No. 58 号

29.08.01

No. 59 号

29.12.15

④ホームページによる情報提供の充実

計量に関する正しい知識及び技術等の普及と事業内容や校正品目の広報のため、最新情報に基づく情報提供の充実に努めた。 URL <http://www.kryo.jp/>

(2) 計量法に基づく特定計量器の定期検査、検定作業等に関する受託事業

①行政機関からの受託業務に係る適正な業務システムの運用と円滑な業務の実施

1) 特定計量器の検定作業等受託業務

平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日

業務内容	個 数	対前年比 (%)	H28	H27	H26
質量計検定	746	112.5	663	502	456
燃料油メーター等検定	943	70.3	1,341	929	1,419
血圧計検定	22	550.0	4	24	21
タクシメーター装置検査	2,432	97.9	2,483	2,551	2,611
基準器検査	195	78.0	250	242	276
合 計	4,338	91.5	4,741	4,248	4,783

※対前年比：平成 28 年実績 (1/1～12/31) との個数の比

2) 指定期検出機関としての特定計量器の定期検査

岩手県対象地域 県北地区 (延べ 51 日)

盛岡市対象地域 北部地域 (延べ 19 日)

地 域	事業所数	個 数	対 27 年比 (%)
岩手県 県北地区	1,295	2,326	98.4 (96.9)
盛岡市 北部地区	336	537	94.7 (96.8)
合 計	1,631	2,863	97.7 (96.9)

※対 27 年比：対象地域が同じ平成 27 年実績との個数の比 (事業所数の比)

②特定計量器の定期検査に係る事前調査

盛岡市北部地区を対象に調査を実施 (調査対象件数約 610 件)

(3) 計量関連機関との連繋及び交流に関する事業

①東北六県北海道計量協会事務局長会議へ出席 (山形市)

29.02.09

②一般社団法人日本計量振興協会の定期総会へ出席

29.05.25

③東北・北海道計量大会への参加 (宮城県)

東北六県北海道計量協会会長・同計量士会長合同会議及び

東北北海道計量大会及び第 66 次東北六県北海道計量協会連合会総会

29.10.05

④東北六県計量士協議会の開催

第 39 回目の東北六県計量士会 (計量協会計量士部会) が、山形市のホテルキャッスルを会場に、各県の提出議題の協議や、最近の計量関係情報についての講話、研修会として各県の若手計量士の意見発表の実施

29.12.07

#### (4) 計量士による代検査及び管理検査に関する事業

- ① 定期検査対象地域における計量士による代検査業務の実施
- ② 計量自主管理事業所に対する管理検査業務の実施  
計量器検査及び量目検査、管理指導等の業務
- ③ 土木関係事業所における計量計測機器類の検査・校正業務  
配合用計量器の検査及び試験用計量計測機器類の検査・校正の実施
- ④ 適正計量管理事業所における計量管理業務の実施  
計量器検査及び量目検査、管理指導等の業務
- ⑤ 第 45 回農協関係における計量管理に係る協議会を開催 29.03.16
- ⑥ 第 42 回 J I S ・品質管理講習会の開催 29.06.08 ～ 09  
岩手県内の生コン工場を対象に、JIS 規格及び計量管理を内容とする講習会を陸前高田市で開催した。(岩手県生コンクリート工業組合共催 参加 44 工場)
- ⑦ 代検査及び管理検査等の実績

平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日

業 務 内 容		事業所数	個 数	対前年比(%)
計量士による 代 検 査	岩手県・盛岡市	920	3,771	100.6
	県 外	671	1,537	92.6
計量管理検査		611	6,931	103.3
土木関係事業所における検査・校正		190	424	84.1
適正計量管理事業所の管理検査		12	409	96.9
日本郵政関係		259	374	98.9
合 計		2,663	13,446	-

※対前年比：代検査は平成 27 年実績(1/1～12/31)、他は平成 28 年実績(1/1～12/31)との個数の比

#### (5) 計量機器及び計測機器の試験及び校正に関する事業

- ① JCSS 登録事業者（国際 MRA 対応認定事業者）として適正な校正事業を実施
  - 1) 品質目標
    - 1. 国際 MRA 対応認定事業者として、顧客のニーズを的確に把握するとともに、常に質の高い校正サービスを提供する
    - 2. マネジメントシステムの継続的改善と校正技術の研鑽、校正スタッフの充実により校正サービスの品質を確保し、苦情ゼロの堅持と適正な納期の維持に努める
    - 3. 質量区分の JCSS 定期検査に適切に対応するとともに、ブロックゲージ、分銅の JCSS における技能試験に合格する  
品質目標は、概ね達成した。
  - 2) 認定機関による契約検査（定期検査） 29.03.23 ～ 24  
質量区分について認定機関による契約検査（定期検査）が行われ、検査の結果、不適合事項等もなく、認定基準への適合が確認され、国際 MRA 対応認定継続について問題ないことが認められた。
  - 3) 技能試験  
2017 年に行われた JCSS 技能試験は、ブロックゲージと分銅であった。  
(ブロックゲージ：2017 年 2 月 10 日～2 月 23 日、分銅：1 月 27 日～2 月 20 日実施)  
ブロックゲージの JCSS 技能試験の結果は合格であった。

分銅の JCSS 技能試験の結果はまだ報告されていない。

力区分の校正に係る認定機関（NITE）が認めた JCSS 技能試験は 2018 年を予定している。

②登録範囲以外の計量計測機器類の試験及び校正業務の実施

計量のトレーサビリティを確保した常用参照標準及び機器類を整備し 適正なマネジメントシステムにより校正業務を実施した。

③校正実績

平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日

分類	種類	事業所数	新規	個 数	対前年比 (%)
JCSS 校正	ブロックゲージ	68	10	1961	260.0
	一軸試験機	112	5	112	103.7
	分銅	136	19	1,399	96.7
	はかり	36	5	115	109.5
	小 計	352	39	3,587	148.6
一般校正	温度計、圧力計、 長さ計、力計、 トルク機器等	441	62	1,468	117.4
	合 計	793	101	5,055	138.0

※事業所数：JCSS 校正（はかり）以外は延べ事業所数 ※対前年比：平成 28 年実績（1/1～12/31）との個数の比

④関連する計量標準の協議会、連絡会議への参画

JCSS 登録事業者向け JCSS 制度説明会に出席した 29.02.28

質量標準トレーサビリティ研究会・JCSS 技術管理者意見交換会に出席した。 29.10.06

(6)その他本会の目的を達成するために必要な事業

①地方計量行政機関の業務に対する協力

岩手県計量センター（岩手県商工労働観光部商工企画室）主催平成 29 年度市町村計量事務担当者会議に出席し、定期検査及び代検査について説明した。 29.04.19

②一般社団法人日本計量振興協会が行う事業への協力

1) 自動はかり計量管理推進委員会に出席した。（第 1 回） 29.05.16

2) " (第 2 回) 29.10.10

3) (株) ミツヤ川越工場見学会に出席した。 29.07.27

4) 自動はかり（重量選別機）の計量管理基礎実機研修会に 3 回出席した。

(株) イシダ (29.05.16)、アンリツインフィビス(株) (29.09.12)、(株) エー・アンド・デイ (29.11.28)

5) 第 7 回中小企業向け測定基礎研修会を開催した。 29.12.06

③計量士の資質向上及び人材の育成

1) 公益社団法人ボイラクレーン安全協会主催の小型移動式クレーン運転技能講習を受講した。 29.03.21～23

2) 一般社団法人日本計量振興協会主催の ISO/IEC 17025 内部監査員研修講座を受講した。 29.07.06～07

3) JCSS 登録区分毎に内部で行う技能評価試験を実施し、校正の技術的能力の確認を行った。

4) 定期的に社内研修を開催し、品質目標の周知等を行うとともに、外部研修による知識や情報の共有化を図った。